

余明軍の歌一首

三九四番

標結ひて 我が定めてし 住吉の 浜の小松は
後も我が松

笠女郎、大伴宿禰家持に贈る歌三首

三九五番

託馬野に 生ふる紫草 衣に染め いまだ着ずし
て 色に出でにけり

三九六番

陸奥の 真野の草原 遠けども 面影にして 見
ゆといふものを

三九七番

奥山の 岩本菅を 根深めて 結びし心 忘れか
ねつも